

労働者保護ルール改悪阻止！東地協キャラバン行動

許さん！労働法制改悪

反対を訴えながらキャラバン、市民の叱咤激励も



ブロックごとに取り組んだ。

キャラバン行動の前段、5月13日に行われた連合高知主催の「“ワークルール改悪阻止” 連合高知総決起集会」では、市川東地協事務局長が「労働法制改悪の問題点が世間に知れ渡

連合高知東地協は5月16日から26日にかけて、“「STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現」キャンペーン第3弾のキャラバン行動”を

っていない。だからこそ、労働者の働き方がどう変わろうとしているのか市民に訴え、廃案に向けてキャラバンを成功させる」と決意を述べて、行動をスタートさせた。

すべての行動を通じて参加者は、のべ40名にのぼり、地協の最東端である「東部ブロック」から西へ、「嶺北ブロック」、「南国・香美・香南ブロック」、「高知市ブロック」へと各ブロックの隅々まで行動を貫徹してきた。南国・香美・香南ブロックでは行動の最後に組合員の家族を含めた約30名の参加で「総括集会」を開催。行動の報告とともに、労働者保護ルール改悪の問題点を参加者全員で意思統一した。

各ブロックの行動内容は以下のとおり。

《東部ブロック(5/16)》

当日の朝は、あいにくの雨だったが、午後には天気が回復。



それとともに参加者の街頭行動にも熱が入った。キャラバンでは、街宣車によるテープ流しを中心にして、随所で街頭行動と中心街・集落へのビラのポスティングを組み合わせる行動した。なお、田野町では河田角栄町議が応援演説に駆けつけた。

《嶺北ブロック(5/23)》

東部ブロックの行動から1週間後、高知の水がめ早明浦ダムがある嶺北で行動を展開。中山間地域を街宣車が駆け巡った。行動の内容は東部ブロックと同じく街宣車による行動と街頭行動を中心にして、集落へのビラ・ティッシン



ユのポスティングも行いながら行動した。本山町の街頭行動では、住人がわざわざ折りたたみのイスを持ち出して、街頭演説に聞き入る姿も見られた。また、土佐町では和田勇町議から応援演説をいただいた。

《南国・香美・香南ブロック(5/24)》



嶺北ブロックの行動に続いて行われた南国・香美・香南ブロックの行動は、これまでの天気とは打って変わってカンカン照りのもと、キャラバン行動隊が街を巡った。随所で街頭行動を展開しながら、中心街・団地へのビラ・ティッシュのポスティングで労働法改悪の内容を市民に知らせた。午後からは、中山研心南国市議も駆けつけ、最後まで行動を共にした。また、集約集会では、組合員の家族を含めた参加で、労働

者保護ルール改悪の問題点と今後の行動を全体で意思一致した。

《高知市ブロック(5/25~26)》

1日目は衆議院選挙区第1区を、2日目は



同2区を巡った。キャラバン行動の内容は、他のブロックと同様に、街宣車による街宣を中心にして、随所で街頭行動と主要な団地等へのビラ・ティッシュのポスティングを組み合わせる行動をおこなった。行動の最中には、住民がわざわざ屋外へ出てきて訴えを聞き入る姿や、ビラを受け取って“私の娘も派遣労働者。こんな法案通したらいかん！あんたらあがんばってや”との叱咤激励もいただいた。

